

みんなの議会

令和7年12月定例会

長与町
議会だより
No.196



大村湾を望むホシテラッセ工事現場

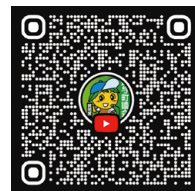
特集：住民の声を聞きました p2 ～ 3

いよいよ始まる高田学園..... p6

10人の議員が町政を問う p7

議会改革プロジェクト委員の募集と

議会アンケートのお知らせ..... p19



動画配信中

聞

く！

住民の声を聞き、まちに届ける。

それも私たち議会の、議員の役割。



テーマにそってみんなで意見交換！

令和7年度議会報告会を開催しました

議員の意見を直接聞けて、勉強になった。2つのテーマで班が分かれていたので、別の班の意見も聞きたかった。



相川正敏さん（嬉里郷）

住民の声！

とても勉強になりました。議会だよりも楽しみにしています。



川野邦子さん（高田郷）

住民の声！

令和7年11月1日（土）、長与町ふれあいセンターにて令和7年度議会報告会を開催しました。
昼と夜の2回で、計18人の町政に関心がある皆さんが参加してくださいました。
各常任委員会が活動報告を行った後「人口減少対策と将来の暮らしを考える」「地域商業活性化とにぎわい創出」の2つのテーマで意見交換を行い、たくさんのご意見・ご感想をいただきました。

主なご意見（要旨）

●人口減少対策と将来の暮らしについて（総務厚生常任委員会）

- ・土地利用を図るために、諫早市のように都市計画の線引きを廃止して、新たな計画を考えるべきだ。議会からも働きかけを。
- ・産婦人科があれば若い世代が長与町を選ぶポイントになるかも知れないが、病院が成り立っていくかどうか難しい問題だ。
- ・人を呼び込むような仕組みを作り、SNSで町外の人を呼び込むのはどうか。

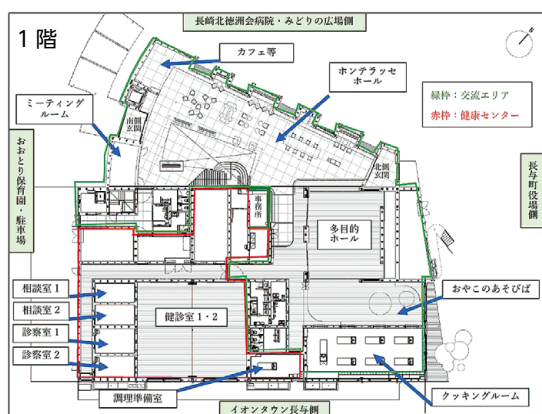
●地域商業活性化とにぎわい創出について（産業文教常任委員会）

- ・障害者や女性の雇用の場が少ないように思う。
- ・駐車場がないので設置してほしい。
- ・バスの便が、長崎市に人が流れるようになっている。長与町内に行きたくなくなるような公共交通の便を考えてほしい。
- ・ビジネスを育てるような職員を育成してほしい。
- ・観光スポット創出を。花を植えるなど簡単なことから活気が生まれる。

住民の皆様からいただいた声は

伝える！

委員会質疑などにも反映しています。



コンセプトは「学び・育み・ふれあいの拠点」

休館日などに利用者の利便性優先を求む

新図書館等複合施設整備に関する調査特別委員会 活動報告

委員長 西岡 克之

令和7年11月28日の10回目となる委員会では、新図書館等複合施設の詳細な図面と現時点での管理運営計画が町から報告されました。

● 名称 ホントラッセ長与

● 開館 令和9年4月

● 開館日

1階健康センター

火～金（祝日休）

1階交流エリア・2階図書館

火～日および月以外の祝日

● 駐車場 110台・バイク10台

● 主な設備

・おやこのあそびば

・多目的ホール・ベビールーム

・カフェ・クッキングルーム

各議員から休館日や蔵書、カフェ、アクセスなどさまざまな面に質疑が相次ぎ、改善すべき点は利用者の利便性重視の姿勢で十分に再検討するよう強く求めました。

町は「図書館という『場』に住民が集う活動を支援する」との計画を実行して「みんなの図書館」にしてほしいです。



小袋朋美さん（三根郷）

住民の声！

主な質疑

Q 月曜日が祝日でも全館休館とのことだが、2階の図書館は祝日は開館し、翌火曜日を振替休館とできないのか。

A 1階を開けずに2階を開けるのは難しく、考えていない。

Q 多目的ホールはどのような使途を想定しているか。

A 母子・成人の検診などの保険事業が主だが、それ以外では講演会などの社会事業・交流事業を想定している。

Q マイナンバーカードによる図書館の貸し出しは検討しているか。

A 現在は考えていないが、マイナンバーカードに情報を入れれば図書館カードとして利用できることは確認しているので、今後そのような、何か新しい取り組みは協議していく。

高田学園開校のための予算を含む

全会一致
可決

令和7年度一般会計補正予算（第4号）



可愛いからと放置しない 早期の対策を

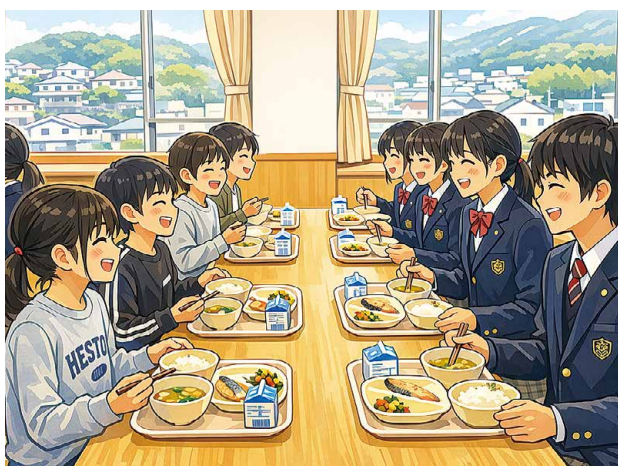
イノシシ対策費の増額は

Q イノシシ被害が増加している。ワイヤーメッシュ柵の補助金の増額はどうか。

A 被害防止の柵への補助金は9月末に上限に達しており、その後の相談は次年度の申し込みで話をしている。

一般会計予算に、第4号補正で7203万6千円を増額し、総額を170億6494万6千円としました。

令和7年第4回定例会を12月2日から12日までの11日間の会期で開き、令和7年度一般会計補正予算など10議案について慎重に審議を行いました。



同じ給食を食べて、絆を強く
(イラストはAIにより作成)

義務教育学校の給食は

Q 食器・食缶などの購入があるが、令和8年度からの義務教育学校さくら野校舎での5・6年生の給食はどのようなになるか。

A 共同調理場からの供給となり、5・9年生まで献立は同じであるが、5・6年生はパンの大きさやおかずの量が違うものとなる。



おっ！ 聞こえた!! (イラストはAIにより作成)

聞きたい声をハッキリ大きく

Q 聴覚サポート機器購入の理由は何か。

A 高齢化による聴覚機能低下対策として、集音器などを訪問時に使用し、コミュニケーション改善を図るためである。

可決
賛成13:反対2

こども誰でも通園制度が始まります

議案第72号
長与町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例

0歳6カ月から満3歳未満の未就園児を対象に、一定利用可能枠の中で保護者の就労要件を問わず時間単位で柔軟に利用できる「乳児等通園支援」が創設されたことに伴い、国の基準を踏まえ条例を制定するもの。

議案第73号
長与町特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例

乳児等通園支援事業の創設に伴い、特定乳児等通園支援事業の運営基準について国の基準を踏まえ条例を制定するもの。

主な質疑

Q 国の「こども誰でも通園制度(※)」に基づく事業は全自治体が必ず実施しなければならないのか。

A 8年度以降は法律に基づく給付制度となり、実施が必須となる。

反対討論

理念は理解できるが、利用に当たっての面談などが簡易に済まされる仕組みであり、また、事業従事者が基礎的な研修で従事可能となっており、保育の質と安全が懸念される。子供の安全を脅かす恐れがある制度を本町で具現化する議案であるため反対する。
(堤議員)

賛成討論

保育の必要性の有無に関わらず子供を預けられる制度で、求職活動など、保護者の都合や家庭の事情に応じた保育利用が行える。1時間300円の利用料について、町独自の支援の検討を求めた上で賛成する。
(八木議員)

※ こども誰でも通園制度

生後6カ月から3歳未満の保育所等に通っていない子どもが、保護者の就労要件を問わず月一定時間まで保育所等を利用できる、子どもの健全やかな育ちと子育て家庭を支援する新しい通園給付制度。

否決
賛成3:反対11

他市町でも進む議員定数の見直しを

発議第1号 長与町議会議員定数条例の一部改正について

違法性を指摘されている議案の分割付託を行っている一般会計予算・決算の審査について全議員で審査をするための適正数として、また、議会運営の効率化や経費削減などの観点から、議員定数を現行の16から13へと削減する議案が議員発議として提案されました。

主な質疑

Q 議会運営委員会がこれから定数見直しを含む議会改革プロジェクトに取り組むと報告したのに、なぜ今提案しなければならなかったのか。

A その予定を知る前から議会事務局に申し出て準備していた。また、改選が9年4月なので、できるだけ早い方がいいと考えた。

Q 常任委員会が7または8人から6人になると議案審査が手薄になると思うがどうか。

A 常任委員会の統合・改編なども含め、削減後の議会運営は削減後に考える事項だ。

発議者 浦川圭一 議員

反対討論

熟慮して提出すべきだ。近隣議会もかなりの時間をかけ決定している。
(岡田議員)

3減では議案審査が手薄になり議員の専門性や知見、多様性も失われる。
(八木議員)

3減の根拠が不明で、減らしたから議会の内容が濃くなるものでもない。
(安部議員)

定数については議会運営委員会が町民の意見や専門家の意見を聴取し議論する予定で、現段階では時期尚早である。
(竹中議員)

竹中議会運営委員長と同じ理由で反対する。
(下町・中村・金子・山口・堤議員)

賛成討論

議員定数は議会制民主主義の根幹で軽々に論ずるべきではなく時期尚早と思うが、一石を投じる意味で賛成する。
(西岡議員)

いよいよ始まる高田学園

令和8年4月より開校 町内初の義務教育学校

これまでの高田小学校と高田中学校が令和8年4月より長与町立高田学園として生まれ変わります。
来春からは、新1年生から4年生までは百合野校舎、新5年生から9年生まではさくら野校舎で学びます。



現高田小学校が百合野校舎となり、現高田中学校がさくらの校舎となります

「義務教育学校」とは、小学校6年間と中学校3年間の義務教育9年間を一貫して行う新しい形態の学校です。高田学園は、中1ギャップの緩和や児童生徒の発達段階に応じた丁寧な教育を目指します。

令和7年第4回定例会の議案および議決結果

議案番号	議 案	審議結果
第72号	長与町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例	可決
第73号	長与町特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例	可決
第74号	長与町立高田学園の設置に伴う関係条例の整理に関する条例	可決（全会一致）
第75号	長与町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決（全会一致）
第76号	長与町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例及び長与町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決（全会一致）
第77号	長与町火入れに関する条例の一部を改正する条例	可決（全会一致）
第78号	財産の処分について	可決（全会一致）
第79号	令和7年度長与町一般会計補正予算（第4号）	可決（全会一致）
第80号	令和7年度長与町介護保険特別会計補正予算（第2号）	可決（全会一致）
発議第1号	長与町議会議員定数条例の一部改正について	否決

賛否が分かれた議案（○賛成 ▼反対 ■棄権 ◆除斥 一欠席）議長は原則採決に加わらないため※で表示

議案番号	下町 純子	堀 真	藤田 明美	岡田 義晴	八木 亮三	松林 敏	西田 健	浦川 圭一	中村 美穂	安部 都	金子 恵	山口憲 一郎	堤 理志	竹中 悟	西岡 克之	安藤 克彦	審議結果
第72号	○	○	▼	○	○	○	○	○	○	○	○	○	▼	○	○	※	可決
第73号	○	○	▼	○	○	○	○	○	○	○	○	○	▼	○	○	※	可決
発議第1号	▼	▼	—	▼	▼	▼	○	○	▼	▼	▼	▼	▼	▼	○	※	否決

■棄権：議員自らの意思により表決に参加しないこと。 ◆除斥：議員は自らに利害関係のある事件の議事に参与することができないこと。

10人が問う

一般質問

質問は、行財政全般にわたって議員主導の政策論議をするもので、議員も執行側も十分な準備を必要とすることから、事前通告制です。制限時間60分の範囲内で、一問一答制をとっています。

一般質問の記事

質問した議員が実際のやりとりの範囲内で執筆したものです。原稿は、原則として1000文字以内に要約したもので、原文を尊重して掲載しています。

会議録の閲覧

会議録は、長与町図書館、長与北部地区多目的研修集会施設、高田地区公民館、上長与地区公民館、長与南交流センター、長与町議会ホームページで閲覧できます。

会議の 中継・配信

本会議の模様を、ユーチューブでライブ配信・録画配信しています。ご自宅のパソコンやタブレットなどからもご覧になれます。

掲載ページ [一般質問の動画にリンクした二次元コードを掲載しております。ぜひご覧ください。](#)

8	八木亮三議員	① 令和9年度の水道料金改定に向けて ② 町営住宅の運用について
9	竹中悟議員	① 町政かじ取りについて ② 医院、歯科の日祝日の当番医療の現状と病児保育、産婦人科について
10	金子恵議員	① 福祉バス撤退後の地域活動の確保について ② 紙おむつごみ対策と将来の循環化に向けた対策について
11	岡田義晴議員	① 本町の脱炭素化の取り組みについて ② 本町の空家対策について
12	西岡克之議員	① 福祉目的使用のバス導入について ② マイナンバーカードおよびマイナ保険証の普及について
13	安部都議員	① 教育行政について ② 障がい者福祉行政について
14	下町純子議員	① 本町でできるゼロカーボンへの取り組みについて
15	堤理志議員	① バス停の屋根、椅子設置について ② 長与中学校下交差点への信号機設置について
16	浦川圭一議員	① 現時点における都市計画税の課税期間の確定について ② 町内の主要な箇所への防犯カメラの計画的な設置について
17	松林敏議員	① 高田中学校グラウンドについて ② 非常勤の特別職員に対する費用弁償について ③ 小規模修繕・維持工事等契約希望者登録制度について

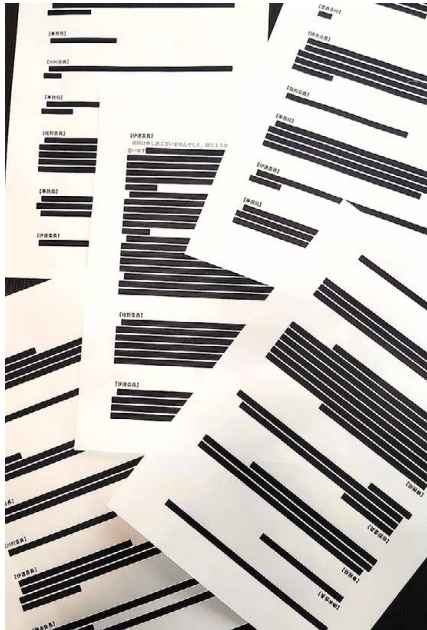


水道料値上げに緩和措置を求める



動画は
こちらから

回答 協議の参考として審議会へ伝える



町特別職報酬等審議会の黒塗りの会議録
水道料金の審議はこうならないように

■議員 本町では現在、令和9年度中の水道料金の24%程度の値上げを前提に水道料金等審議会が協議を行っている。人口減少による減収や老朽化設備の更新への支出増などで値上げは必要だが、物価高騰の中、水道料金的大幅値上げは町民に大きな負担となる。一般会計での激変緩和措置などを含め、段階的な値上げを検討すべきと思うがどうか。

■議員 私は反対した6年3月の議員報酬増額の根拠とされた特別職報酬等審議会の議事録は、ほぼ黒塗りだった。そのような公表できない審議での結論では町民は納得しない。水道料金等審議会の協議の内容を詳らかにすることを強く求めるが、今後会議録は公表するか。

■上下水道課長 全て公開する予定だ。

■議員 大幅値上げで水道の使用量が減り、想定より料金収入が下がる可能性がある。すでに値上げしている他自治体の水道使用量の変化を調査し、審議会での値上げ率の協議・決定の参考にしては

どうか。

■課長 調査したい。

問 町営住宅の保証人要件の廃止を

答 2人を1人に減らす検討はする

■議員 本町の町営住宅の運用が、低所得者のセーフティネットという公営住宅の本来の趣旨・目的に沿っているか質問する。平成30年以降、国は保証人要件の廃止を自治体に求めているが、本町は今も連帯保証人2人を入居要件としている。国の方針に従い保証人を廃止すべきではないか。

■町長 入居者が支払い不能になった場合に備えて保証人を設定しているが、他の自治体の状況も見ながら検討したい。

■議員 長崎市は国の方針を受け保証人を2人から1人にした。同様に考えるはないか。

■都市計画課長 廃止はできないが、保証人の確保が難

しい高齢者の増加なども考えられるので、次回の募集から1人へ減らすことを検討する。

■議員 県がパートナースhip制度を導入したら、認証された同性カップルは夫婦と同様に入居を認めるべきかどうか。

■課長 県営住宅がそのようにするのなら、同様に運用する。

残置物への備えを

■議員 独居者が死亡し家財道具などが残された場合、速やかに撤去して次の人が入居できるようにすべきだが、残置物を撤去するには法的根拠が必要だ。放置自転車撤去するのと同様な即時強制を可能にする条例を作ってはどうか。

■課長 単身入居者死亡時の残置物は相続人や財産管理人が見つかる前でも撤去できるとする国交省の方針案や、他市町の事例を参考に対応していく。



町政のかじ取りを問う



動画は
こちらから

回答 4本柱を目標に進めていく

- **議員** 町政のかじ取りについて尋ねる。令和7年6月定例会で現状の財政状況について質問し、財政は健全であるとの回答を得たが、財政指数を見ても到底健全とは思えない。今後の図書館等複合施設、浄水場建設を始め大型事業や改修工事を考えると、相当な財源が必要となることから、早急な財政健全策が急務である。現状取り組んでいる重点業務、特に力を入れている分野は何か。
- **町長** 現在、第11次総合計画を策定している。自治会とコミュニティを含めた協働の町づくりをはじめ、教育、福祉など、コンパクトシティの考え方を踏まえ、生活利便性の高い都市構造を目指す。
- **議員** わが町における最大の問題点はどのようなものか。
- **町長** 人口減少問題である。と認識している。子育て、教育、健康づくり、遊び心の4本柱を軸に、ソフト、ハード面から戦略性、実効性を



財政健全化を求める

- 持つてまちづくりを進めている。
- **議員** 町政のかじ取りに対する副町長の立ち位置と役割について尋ねる。
- **町長** 町長の意向の下、人材育成や町民との橋渡し、行政の調整役に努めてもらっている。町長を補佐し、行政運営を円滑に進めるための重要なポジションであり、行政全般における全ての事務を監督する重要な立場である。
- **議員** 本町では年間どの程度の随意契約を行っているのか。

- **契約管財課長** 膨大な数字になるため把握していないが、契約金額が50万円を超える1社特命随意契約では、水道局を除き211件である。
- **議員** 透明性、公平性の担保、業者の選定基準、金額の妥当性についてはどうか。
- **課長** 事業者の信用実績などを考慮しつつ、できるだけ不特定多数の者に幅広く競争の機会を提供できるよう努めている。また、複数の見積もりを取っている。
- **議員** 随意契約に関する情報公開の徹底や手続きのデ

ジタル化の透明性について尋ねる。

- **課長** 限度を超えた1社特命随契約の公表を準備中である。

- **議員** 長崎市では、本社を市内に持つことを指名条件にしている。町内業者育成のための町独自の入札制度は考えられないのか。

- **町長** 現在、県などが行う経営事項審査の総合数値により格付けをしている。また、町独自の入札制度の導入の研究を進めている。

問 歯科医院の日祝日の当番医導入を

答 西彼歯科医師会と協議し検討する

- **議員** 歯科医院の日祝日の当番医については現行本町では行われていない。行政として当番医に対する補助金を検討すべきではないのか。
- **健康保険部長** 関係市町や西彼歯科医師会と協議を交え検討する。



かねこ 恵 議員

どうする つながり守る 地域の足



動画は
こちらから

回答 住民に喜ばれる形を目標に考える



地域の足として活躍した福祉バス
今後も必要です

■ 議員 福祉バスは、単なる移動手段ではなく、高齢者の外出支援やサロン活動・自治会など世代をつなぎ地域を元気にしてきた地域の足である。人口減少、高齢化が進む今こそ、外に出てつながる機会を守る移動の仕組みを整えることが活力を保つために必要と考える。前回の質問から2年経つが、何を協議し検討してきたのか。

■ 福祉課長 自治会やサロンなどで重要な役割を担っているため、令和5年度から、バスレンタルについての費用負担も行ってきた。福祉バス運行については現在も協議中だ。

■ 議員 当初予算で約140万円が計上されていた。11月で予算が尽き、それ以降はレンタル費用がなく、結果としてバスを借りての活動ができない。現状をどう考えるか。

■ 課長 例年3月補正予算で精算し対応している。レンタル代や修繕費などについても、これまで町が負担してきた。

■ 議員 一義的責任の観点から、町が責任を持って方向性を早急に示すべきだがどうか。

■ 住民福祉部長 福祉の増進、公共の利益につながるかを研究し、判断をしていきたい。

■ 議員 運行主体はどこでもよいが、安定的・継続的な運行のためには町営という選択肢もあるのではないか。

■ 福祉課長 町営も一つの策として研究はしているが、民間委託も含め検討している。

■ 議員 社協（社会福祉協議会）が福祉バスを廃止すれば、住民の活動を止めることになる。真剣に考えているのか。

■ 副町長 住民に根付いているので、何とか継続ができないかと話をしている。運営方法も町の委託の一環として捉え、社協の持ち出しがないような形で検討しながら、今協議をしている。社協会長などに話をし、課長会議にも掛けてもらっている段階であり、この件は会長とまだ協議中である。

町長判断の重要性

■ 議員 町長の判断は重要だ。傍聴に来ている人も、その言葉を聞きたい。町長がや

ると言えば行政は動く。しかし、それが曖昧なままでは動けない。その一言が大切かどうか。

■ 町長 福祉は最重要課題だが社協は一つの団体であり、町が任せている以上協議を続けながら進める必要がある。これまで、無理がないよう町が補完してきた経緯もある。町民に喜ばれる形を目標に、よりよい回答を見つけたい。

問 紙おむつごみ
資源化への研究を

答 増加見込まれる
研究は必要

■ 議員 紙おむつの資源化の技術が進んでいる。特化した研究の必要性をどう考えるか。

■ 町長 分別・減量化について研究、情報収集に努めている。国のガイドラインで増加が見込まれる紙おむつごみに関しても、研究の必要があると考えている。



温室効果ガスの削減率は



動画は
こちらから

回答 平成19年度比12.6%の削減

■議員 令和7年時点での温室効果ガスの削減率は何%か。

■町長 5年度速報値では平成19年度比で12・6%の削減となっている。

■議員 脱炭素化に向けた家庭や事業所への対応はどう進んでいるか。

■町長 太陽光・蓄電池設備の設置に対する助成事業を令和6年度から実施している。さらに家庭向けとして、5年度に省エネ家電購入費補助、7年度には省エネ家電購入費補助および住宅用LED照明購入費補助などの助成事業を実施している。

■議員 省資源・循環型まちづくり、脱炭素に向けての都市の形成はどう進んでいるか。

■町長 4R(※1)の推進を掲げ、ごみの発生抑制、さらなるごみの資源化、資源回収活動に対する支援や実施方法の検討、海洋漂着ごみの回収支援などを行っている。また、公共交通機関の利用促

進として県内一斉スマートムーブウィーク(※2)の周知・啓発およびパークアンドライド(※3)駐車場の利用を促進している。

問 本町の現在の空家率は

答 総務省統計で10・08%

■議員 空家が顕在化している地区、地域の特徴は何か。

■町長 3年度の空家実態調査によると、空家率の一番高い地区は本川内郷の5・1%、次いで平木場郷の3・5%、斉藤郷の3・3%となっている。高齢化率が高い地区が空家率の上位を占めている。

■議員 本町の現在の空家率は何%か。

■町長 総務省統計局の住宅・土地統計調査による5年の本町の空家率は10・08%で、平成30年度の前回調査での9・62%より0・46%上昇している。

■議員 今後の課題は何か。

■町長 空家等の問題は、人口減少と高齢化に起因する構造的課題であり、今後さらに増加が予想される。そうした中、第一に、所有者など自らが適切に管理を行うことが前提であることから、所有者の意識を高めることが重要と考える。

■議員 8年度からの空家対策はどう進めていくのか。

■町長 空家実態調査を行うとともに、空家所有者に対しアンケート調査を実施する。これと並行し、空家所有者にリーフレットを配布し、相談窓口などに関する情報提供を行うとともに、管理に関する注意喚起を行いたいと考



空家対策の第1歩は、所有者の適切な管理から！

※1 4R

R(リサイクル再資源化)
R(リユース再利用) R(リデュース減量) R(リフューズ断る)の4つのRのこと。

※2 スマートムーブウィーク

エコドライブの励行やバス・電車等での移動や徒歩でCO2を削減する環境キャンペーン。

※3 パークアンドライド

郊外や駅周辺の駐車場に車を止め、公共交通機関に乗り換えるシステム。

えている。また、管理状態が比較的不良とされる空家については継続的に観察を行い、相談が寄せられた際には所有者などに適切な管理を促し、町民の安全・安心の確保に努める。



にしおか かつゆき 議員
西岡 克之

福祉目的バスの運行を求める声は



動画は
こちらから

回答 運航継続の要望は複数ある

■議員 本町において社会福祉協議会が運営していた、いわゆる福祉バスが、本年度いっぱい撤退することが決定しているようである。町民は大変不便な状況に陥っている。社協自身には運行再開に向けての体力はないようだ。しかしながら、福祉バスの潜在的需要は町内では依然高いものがあるようだ。私の所にも障害者団体、自治会、ボランティア団体などから、運行再開へ向けての要望が多数寄せられている。そこで、本町が主体的に運行に取り組んでみてはどうかと考えている。町の方へ同様の目的を持ったバス運行の要望はなかったのか。

■町長 福祉バスの運行に関しては、社協理事会、評議員会より報告があった。バス運行継続の要望は数件あった。

■議員 導入について検討する所管課はどこか。

■町長 現在、福祉バスの運行について社協と協議を進

めている所だ。今後社協が運行廃止した場合、新たに検討する対象者やバスの目的が福祉活動などに利用するものであれば、福祉課で検討することになると考える。

■議員 EV型バス導入の可能性はどうか。

■町長 環境配慮型バス導入も選択肢の一つとして研究していく。

問 マイナ保険証のさらなる普及を

答 町ホームページで周知している

■議員 従来の保険証は、有効期限が令和7年12月1日で切れる。その後、マイナバーカードでの保険証利用を基本とする仕組みに移行する。そこで一人でも多くの人に安心して利用できるようにいくつか質問する。マイナバーカードの保有率と保険証へのひも付けについて尋ねる。

■町長 本町のマイナバーカードの保有率は、7年

10月末時点で、84・9%で、国保のひも付けは、7年8月時点で76・6%だ。

■議員 普及活動はどうか。

■町長 マイナバーカードは、町ホームページで周知をしている。マイナ保険証は、国保加入者でひも付けをしていない人には、健康保険課がタブレット端末などで、ひも付け支援をしている。

■議員 福祉施設などの入所者に対する取得支援はどうか。

■町長 職員が施設に向向いて、申請受付や交付の手続きをしている。

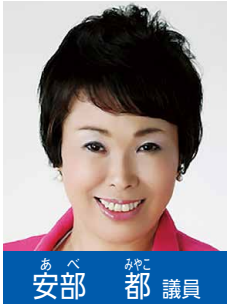
■議員 海外転入者などや、新生児にはどうか。紛失者への対応も尋ねる。

■町長 海外転入者には英語ができる職員が対応している。紛失時には特急の発行制度で対応している。

■住民福祉部理事 新生児は、出生届時に同時に申請することが出来る。



便利に使おうマイナカード



中学校入学時の制服代の補助金を



動画は
こちらから

回答 現段階で補助は考えていない



新中学一年生の制服代3万円の補助金支給を！
(イラストはAIにより作成)

■議員 中学校入学時、生徒一人当たりの制服代などについて保護者の負担金はどのくらい掛かるのか、また補助金支援について聞く。

■教育長 金額は全校一律ではなく、制服代として平均約6万5千円の経費が掛かる。また、ジャージや体操服、シューズ、通学バックなどが必要となり、全て購入すると負担額は11万円となる。就学援助を受けている家庭には、入学準備金として生徒1人当たり6万3千円を支給し負担軽減を図っている。その他の補助については現段階では考えていない。

3万円の補助を

■議員 制服代について1人当たり3万円の補助をする場合予算規模はどうか。

■教育長 高田学園の新7年生と長与中と長与第二中の新1年生、426人で試算すると1278万円の予算が必要だ。

問 屋根付き障がい者駐車場の設置を

答 補助金がないか研究を行っている

■議員 屋根付き障がい者等駐車場の役場玄関前設置について、進捗状況はどうか。

■町長 安全対策など大がかりな工事になることが想定される。庁舎の大規模改修時に設置できないか、活用できる補助金などないか、継続して研究している。

■議員 多くの障がい者から、交通事故がないと設置しないのかなどの声が出ている。命の重さと安全を考え国の財源を検討してほしい。

■契約管財課長 国と民間の補助を引き続き調べていく。

■議員 イベントの際、障がい者が警備員に障害者専用駐車場への駐車を断られた事例があると聞いている。町民文化ホール前の駐車スペースを、さらに多く確保できないか。

■教育長 現在、約100台分の駐車スペースのうち、障害者駐車施設を2台設置している。車椅子使用者専用座席チケット購入者には駐車券を渡し、専用駐車場以外の駐車スペースも確保している。利用しやすいよう、駐車場整理の際は配慮している。希望者が円滑に利用できるよう、ホール管理者と協力し適切に運営を図っていく。



町民とプロと共に平和の詩を作成し
平和と文化の発信を！

■議員 障がいのある人もない人も共に、ピースで笑顔の文化と平和の発信を合言葉に長崎出身の歌手と共に曲を作成し、合唱を行い、ピース・スマイルプロジェクトと題し、全国に向け平和で笑顔あふれる・ながよの活動の発信をする考えはないか。

■教育長 毎年8月に、平和コンサートinながよを実施し、今年で26回目を迎えた。町民参加型のコンサートで、吹奏楽やプロの合奏、合唱団による合唱や平和の詩の朗読などを実施し、平和の思いを共有発信している。今回の提案は実行委員会に伝え意見を聞く。



ゼロカーボンへの取り組みは



動画は
こちらから

回答 さまざまな事業に取り組んでいる

- **議員** 本町でのゼロカーボンへの取り組みを尋ねる。
- **町長** 太陽光発電・蓄電池への補助、省エネ家電・LED照明購入補助などの助成事業に加えてゴミの分別などの啓発事業、公共施設のLED化やゼロカーボン電力の調達、EV車の導入などさまざまな事業に取り組んでいる。
- **議員** 公用車は今後EV車に移行する予定なのか。
- **契約管財課長** 役場が率先してEV車の導入を進めたところだが、費用対効果の面も考慮しながら検討していきたい。
- **議員** 脱炭素型ライフスタイル推進養成講座を設けてゼロカーボンへの取り組みを広める制度のある自治体があるが、本町にもこのような制度があるのか。
- **住民福祉部理事** 類似するものとして、ごみの分別や減量に取り組む環境サポーター制度がある。
- **議員** 事業者や店舗にどのような指導・助言をしているのか。

- **町長** 事業系一般廃棄物の展開検査を定期的に長与・時津環境施設組合と合同で実施している。搬出事業所、収集業者への指導・助言で廃棄物は大幅に減少している。
- **議員** 子供への啓蒙活動として小中学生に分別の仕方や注意点を分かりやすく記した下敷きやクリアファイルのようなものを配布できないか。
- **住民福祉部理事** 周知については効果的な方法を考えていきたい。

宅配ボックス推奨

- **議員** 宅配ボックス購入のために補助金を出している自治体があるが、本町でもできないか。
- **住民福祉部理事** 購入補助については現段階では考えていない。
- **議員** 国土交通省の補助金があるので条件を満たせば本町でも可能ではないか。
- **理事** 国の補助や先行自治体の事例について今後研究



宅配ボックスの推奨を

- していく。
- **議員** 県内の自治体の一つで市オリジナルの置き配バックを住民に配布しているところがあるが、本町でも検討できないか。
- **理事** 本町にとって、どのような取り組みが地球温暖化防止の対策として効果的なのか、精査していきたい。参考の一つとし研究し判断していく。



バス停に屋根とベンチの設置を



動画は
こちらから

回答 何かできないか検討したい



バス停に屋根を設置して熱中症対策を（イラストはAIにより作成）

■議員 夏場、熱中症警戒アラートが頻繁に発出され、住民の命と健康を守る対策は重要な行政課題である。運転免許証を返納した住民から、

食料品買い出しの際バス停に上屋（屋根）を設置してほしいとの声がある。上屋と椅子の設置ができないか。

■町長 利便性向上に向けた環境整備は、要望などを踏まえバス事業者や道路管理者と連携しながら協議していきたい。

■議員 利便性を問うているわけではなく命と安全を守る観点から質問をしている。認識を変えてできないか。

■企画財政部理事 安全確保の点からも検討したい。

■議員 環境省のまちなか暑さ対策ガイドラインによると、夏は体感温度が40度程度になる場合があるという。また、環境省の熱中症を防ぐためにはの中に、高齢者は体温調整と口渇を感じる機能が低下するとある。全庁職員がこのことを把握しておくことが重要と思うがどうか。

■理事 基本的な情報として共有していきたい。

■議員 以前、廃棄物プラスチックを木材風に加工したベンチが町内にあり、腐食せず使用できている。この材質のベンチのバス停への設置を検討できないか。

■土木管理課長 ベンチを置くことは道路管理者として今のところ考えていないが、協力してもらえ企業などがあれば、道路占有基準に従って判断したい。

■議員 条件があると思うが、折り合いがつく場所について前向きに検討できないか。

か。

■町長 何かできないかという思いはあるので、要望の声があればできる範囲で検討したい。

問 長与中下交差点に信号機設置を

答 信号機不可だが安全対策進めたい

■議員 令和7年10月、長与中学校下交差点で交通事故が発生した。信号機を設置できないか。

■町長 重大事故が発生したことで、さらなる安全対策が必要であると認識している。警察と協議したが、交通量や道路形状などから信号機



長与中学校下交差点は事故防止策が必要（イラストはAIにより作成）

設置基準を満たさない交差点との見解が示された。町としては、安全性を高めるための対策として交差点マーク、新たな道路照明の設置などに向け調整を進めている。

■議員 次善策としてカーブミラーの設置はできないか。

■地域安全課長 メリットとデメリットがある。再度現地を確認し判断したい。

■議員 グリーンゾーン30に加え、路面に高低差をつけるなど、物理的に車のスピードを抑えるグリーンゾーン30プラスを検討できないか。

■課長 取り組めるかどうか警察と協議したい。



現状での都市計画税の課税期間は



動画は
こちらから

回答 起債の償還は令和19年度まで

- 議員 都市計画税の課税期間の確定について聞く。令和7年6月の所管事務調査において示してもらった地方債償還予定表を見ると、18年度末の残高が約2億9千万円なので、現状ではその翌年の19年度で終わると考えてよいのか。
- 財政課長 起債の償還に対する充当が終わるのは19年度である。
- 議員 今後、新たな借り入れ、新たな事業の取り組みなどを行う場合には、納税者、議会に対して、「19年度で課税が終わるとしていたものが3年延びる」「新たな事業に取り組むので10年延びる」のような丁寧な説明をしてもらいたいがどうか。
- 課長 予算決算書やホームページ、広報紙などで丁寧に対応していく。
- 議員 今後、償還額などが都市計画税の収納額を下回るようなことになれば、税率改正なども考えるのか。
- 課長 そのような状況に

- なれば、税率改正もしくは廃止なども考える。
- 議員 分かっているだけで、8年間で4億4千万円の都市計画税の目的外充当(※)がある。その分を償還残高から減額して、償還期間を短くすることはできないのか。
- 町長 都市計画税は、借り入れの累積である起債残高や歳出の償還額を調整し得るものではない。
- 議員 国も都市計画税の違法充当や余剰の有無を課題として認識しており、その把握・解消のための措置を講じる必要があるとしているので、本町で過去にこのような目的外充当があっているかどうか、措置すべきかと、国に指導を求めるわけにはいかないのか。
- 財政課長 再度問い合わせて研究する。
- 議員 起債の返済に充てるためだけに課税を続けている自治体は幾つあるのか。
- 町長 把握できていない。
- 議員 このことは国に聞



長与駅通路に設置された防犯カメラ

- いたのか。
- 税務課長 県から国へ確認してもらったが、分からないとのことだった。
- 議員 先の問題と合わせて一緒に国に聞いてもらうわけにはいかないか。
- 財政課長 改めて国に確認する。
- 問 防犯カメラの計画的な整備は
- 答 犯罪などの発生動向を踏まえ判断
- 議員 今後の安心安全な街を持続させるためにも防犯カメラの設置は必要と思っ

- いる。本町においても計画的な整備が必要と思うが町の見解を聞く。
- 町長 犯罪の抑止や迅速な犯人検挙につながる有効な手段の一つであると認識している。犯罪や迷惑行為などの発生動向を踏まえ、計画的な設置の必要性について判断していく。
- ※ 都市計画税の目的外充当
法律で定められている、都市計画事業や土地区画整理事業以外の用途に都市計画税の税収が使われること。



高田中学校グラウンド草むしりは



動画は
こちらから

回答 砂の飛散防止のため芝生は残す



芝生グラウンドとしての整備を求める

■議員 高田中学校グラウンドには雑草とぬかるみの2つの問題点があると思う。高田コミュニティ主催の運動会で雑草に足をとられて転倒した人が複数いた。令和8年4月に高田学園が開校する前に草むしりを行なってはどうか。

■教育長 グラウンドの雑草については、学校に対し改善の指示を行っている。水はけの不良については、でき得る限りの対策を講じる予定である。

■教育総務課長 指摘された草は13年前の芝生化プロジェクトにより芝生化を行ったものである。近隣に住宅地が増えたこともあり、砂の飛散防

止という観点から芝生を残すことは重要だと考える。

■議員 ぬかるみの修繕のための調査を行ってはどうか。

■課長 常時危険なレベルではないと判断している。今まで通りの日常的な管理を行ない、さらに対応が必要になった場合は学校と連携し検討していく。

問 遠方の委員への費用弁償額検討を

答 ウェブ会議などの参加を検討する

■議員 審議会や委員会が新設される時、県外や遠方の専門家の人に委員をお願いしたくても、現状の費用弁償では頼みづらいのではないかと。総務部長 遠方の人の参加については、ウェブ会議などでの参加方法を検討する。

問 小規模工事発注を情報公開しては

答 年間の受注状況の公表は検討する

議員 6年度の小規模修繕・維持工事の発注件数、およびその合計金額はどの程度あるか。

■町長 468件、約7600万円である。

■議員 上位3事業者の請負件数と合計金額はどうか。

■町長 1位が56件で約1480万円、2位が60件で約1330万円、3位が121件で約1290万円である。

■議員 工事金額が大きいほど見積りをお願いする業者の数を増やすことで、競争原理や受注機会の拡大の効果が期待されると考える。最低限の見積り参加業者数を設定してはどうか。

■契約管財課長 緊急性や工事の種類などによって明確な設定は難しいが、目安としての設定は一定できると考える。

■議員 小規模修繕・維持工事等契約希望者登録制度（※）は情報公開がなされていない。工事名・工事場所・契約金額を公表することで、この制度の参加業者の増加も

見込めるし、発注金額の適正化にもつながると考えるがどうか。

■課長 500件近くの件数があり、複数の所管に渡って、内容も多岐に渡ることから難しいと考えるが、年間の受注状況の公表については研究する。また、広報がよに登録業者の掲載などを行うことで、町民へのPRや参加業者の増加が期待できると考える。



詳しくはこちらで

※ 小規模修繕・維持工事等
契約希望者登録制度
入札参加資格審査申請が困難な町内の小規模事業者を登録し、登録された小規模事業者の積極的活用を図り、受注機会を拡大するとともに、町内経済の活性化を図るもの。

本町の農家が抱える悩みを受けて視察へ

委員長 中村 美穂

○調査日

令和7年11月5～7日

○調査場所

- ① 佐賀県果樹試験場
- ② (株)イノP（くまもと農家ハンター）
- ③ 熊本県山鹿市
- ④ 福岡県みやま市

○調査目的

- ① 柑橘類の収量・品質向上、高付加価値化のための取り組み
- ② イノシンシ対策の取り組み
- ③ 北町浦方集落のイノシンシ対策
- ④ 農業生産基盤の整備・伍位軒集落のみかん栽培

○調査を終えて

初日は、佐賀県果樹試験場で、高品質果実生産が可能となる根域制限栽培などについて学びました。

2日目は、若手農家により鳥獣被害対策について組織されたくまもと農家ハンターを訪問し、イノシンシ対策の活動について聞きました。専門家による指導を受け、ビジネスとして地域課題の解決に取り組んでいるとのことでした。

3日目に訪れた山鹿市では、農家・非農家の区別をなくし、地域ぐ



ICT 機器による捕獲通知で効率化

るみでイノシンシに関する情報を共有し、さまざまな対策を行っていると聞きました。対策の一環として、農家で任意団体を立ち上げ、竹林の荒廃を防ぐため整備し、観光向けのこ園を開園しているとのことでした。また、福岡県みやま市では、基盤整備を進め、シートマルチ栽培などの取り組みが農家の所得向上につながり、後継者が確保されるなど活性化に寄与していました。視察した各議員が報告書を作成し、後日町議会ホームページに掲載しますのでご一読ください。

議会ICTの推進に関する調査特別委員会 活動報告

議場にモニター導入 一般質問を分かりやすく

委員長 堤 理志

協議を進めてきた議場モニターが、12月定例議会から使用可能となりました。一般質問では、議員が用意した資料をモニターに表示できるように、質問内容を視覚的に分かりやすく伝えられるようになりました。今回は2名の議員が早速活用しています。

導入に当たっては、費用を抑える方法を検討し、委員会でアイデアを出し合った結果、早期の実現につなげることができました。

議会広報広聴常任委員会 研修報告

もっと身近に、もっとあなたの議会へ

委員長 安部 都

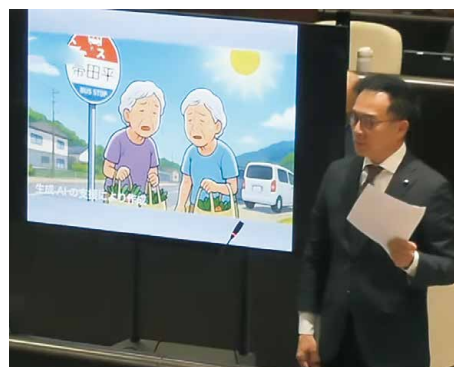
10月8日に、県町村議会議長会主催の広報研修を受けました。

講師の矢嶋洋美氏より、議会だよりを通して、議会や議員の存在意義を、より分かりやすく住民の皆さまへ届ける重要性を学びました。特に「住民の声」を積極的に掲載し、読者が自分ごととして感じられる工夫が必要だと助言を頂きました。

これからは写真や見出しにも力を入れ、読みやすく親しみやすい紙面づくりを心がけます。住民の皆さまにもっと身近に感じていただける議会広報を目指していきます。



住民の声を生かした紙面づくりを！



YouTube でも資料の確認ができます

議会改革プロジェクトに参加しませんか

委員長 竹中 悟

〇目的

本町議会は、信頼される議会を目指し、新たな議会改革プロジェクトを始動します。

つきましては、皆さまの声を改革に反映させるため、町内の各団体に依頼するとともに、プロジェクト委員（個人）を若干名募集いたします。

〇委員の役割

外部講師の進行のもと、「これからの議会のあり方」などを議論いただきます。出されたご意見は、議会での検討を経て、政策立案や提言、透明性の向上へとつながります。会議は令和8年3月・4月に計2回程度開

催する予定です。

〇募集する委員

町内に居住されている個人若干名。（応募多数の場合、議会事務局で抽選を行います）

〇応募方法

議会事務局へ次の方法でご連絡ください。

電話番号 095・801・5700

メールアドレス gikai@nagayo.jp

〇締切

令和8年2月20日（金）

討 報

本町議会議員 中村美穂議員（3期目・無所属）が令和7年12月23日に58歳で逝去されました。中村議員は、平成27年の初当選以来、産業文教常任委員長などを歴任され、本町の発展に多大な貢献をされました。謹んでお悔み申し上げます。

議員辞職のお知らせ

本町議会議員 藤田明美議員から議長宛てに辞職願の提出があり、地方自治法第126条の規定により許可され令和7年12月19日付で辞職となりました。

プレゼント付き議会アンケート

左のアンケートハガキにご回答の上、郵便番号・住所・氏名・電話番号を記入してお送りください。FAX、メールでの回答も可能です。

ご協力いただいた方の中から抽選で、8名の方に「ミッキンググッズ」をプレゼントいたします。なお、当選者の発表はプレゼントの発送をもって代えさせていただきます。

長与町議会事務局

FAX 番号 095-887-2144

メールアドレス gikai@nagayo.jp

締切 令和8年2月20日（金）必着

【個人情報の取り扱いについて】

記入いただきました個人情報は、プレゼントの発送などの目的以外には使用いたしません。

議会広報広聴 常任委員会

委員長 安部 都
副委員長 岡田 義晴
委員 堀 真
八木 亮三
松林 敏
西田 健
浦川 圭一

切り取り線

Q1 「みんなの議会」をこれまでも読んだことがありますか。

1. 初めて読んだ
2. 何度か読んだことがある
3. 毎号読んでいる（ 年前頃から）

Q2 「みんなの議会」で関心のある項目は何ですか。（複数選択可）

1. 表紙写真
2. 議案の内容
3. 特集
4. 議案の賛否表
5. 一般質問
6. その他（ ）

Q3 今回の議会だよりを読んで、どのように感じましたか。（良かった点、悪かった点）

切り取り線

Q4 議会へのご意見をご自由にご記入ください。

切り取り線

次の定例会は **3月3日(火)** 開会の予定です。

長与町議会 (定数16)

傍聴の感想の一部を掲載します。皆さまの傍聴をお待ちしています。

質問の際専門的な用語があったので、一般住民に分かるようお願いしたい

町民の立場に立った一般質問でとても良かった

2年経っても福祉バスについて進展がないことが残念です

12月議会の傍聴者は
延べ **59人** でした



議長交際費

(令和7年10月1日～12月31日)

弔慰 118,550円(6件)
慶祝 35,000円(4件)
その他(視察研修土産など) 14,229円(4件)
支出合計 167,779円(14件)

表紙の写真



タイトル:大村湾を望むホンテラッセ工事現場
撮影場所:北陽台

ホンテラッセの大工工事が始まりました(12月中旬)。耐火木造建築物の図書館としては国内初となるもので、たくさんの木材が組み合わさる様子はとても迫力があります。

編集後記

少子化が進む中、地域における子どもの存在感は高まっているが、虐待や貧困など、子どもを取り巻く環境は理想的とはいえない。見守りの目を地域に増やし子育て支援の輪を広げることが重要だ。文化・芸術は、にぎわいを生み出すだけでなく地域振興の原動力になる可能性を秘めている。その可能性を活力として息づかせるには、次世代の担い手を育てる仕組みが必要だ。子どもたちが主体的に関わり、地域とつながる経験が地域の文化を未来へつなぐ礎となるだろう。

(西田 健)

切り取り線

郵便はがき

料金受取人払郵便

西彼杵局
承認
7083

差出有効期間
令和8年3月
31日まで

(切手を貼らずに
お出し下さい)

8 5 1 2 1 9 0

長崎県西彼杵郡長与町
嬉里郷 659 番地 1
長与町役場 4F

議会事務局
「議会広報広聴常任委員会」 行

氏 名				
住 所	〒 -			
電話番号				
年 齢	・ 10 代以下	・ 20 代	・ 30 代	・ 40 代
	・ 50 代	・ 60 代	・ 70 代以上	
	(あてはまるものを○で囲んでください)			

※ ご記入がない場合、応募が無効となることがあります。



この「ながよ町議会だより」は、環境に配慮し揮発性有機化合物を一切含まない NON-VOC ペジタブルインキで印刷されています。